

伊勢志摩サミット 記念誌

The commemorative publication
of the G7 Ise-Shima Summit



G7 2016 ISE-SHIMA SUMMIT

志摩市

Shima city



伊勢志摩サミット 記念誌

The commemorative publication
of the G7 Ise-Shima Summit

志摩市

Shima city

序文 — ごあいさつ



志摩市長 竹内 千尋

2016年のG7サミットが賢島で開催され、成功の内に閉幕しましたことは、志摩市の歴史の中で記念すべきことであり、誠に喜びに堪えません。政府のご努力はもちろんのこと、市内の協力体制のたまものと敬意を表する次第です。

平成27年6月に安倍総理大臣から伊勢志摩でのサミット開催が発表されて以来、サミットの成功に向け、志摩市では、官民一体となった「伊勢志摩サミット市民会議」を立ち上げ、取り組みを進めてまいりました。開催地としての環境を整えるための事業には、多くの市民の方々のご参加・ご協力を得て、おもてなしの体制を整えることができました。訪れた関係者の方々には、地元の歓迎の気持ちを伝えることができましたと思います。

また、サミット開催の機会をとらえ、首都圏でのPRなど各種情報発信の事業にも取り組んだことで、志摩市の知名度は格段に向上し、素晴らしい自然環境、豊かな食、歴史・伝統文化などの多くの魅力が広く発信され、地域の活性化が図られたように思います。

今後は、この成果を一過性のものとせず、将来にわたって持続させる必要があります。サミットを通して得た経験を生かし、官民一体となって継続して努力を重ねていくことが今後のまちづくりには重要です。そのためにも、サミットという貴重な経験を記録に残し、私たちの思いを後世へ伝えるため、この「伊勢志摩サミット記念誌」を刊行いたしました。私たちの記憶を次世代へ引き継ぎ、地域の誇りをつなぎ、志摩市の未来に役立てられることに期待しています。

最後になりましたが、国・県等の関係者の皆様、並びに市民会議の運営をはじめ、様々な事業にご協賛・ご協力賜りました多くの市民・各種団体・企業の皆様に深く感謝申し上げます。



志摩市自治会連合会長
山崎 勝也

伊勢志摩サミットがわが町で開催されることとなり、歓迎ムードが高まる中、伊勢志摩サミット市民会議の設立に伴い、私はまちの雰囲気づくり部会の部会長を拝命し、おもてなしの活動を基本とした事業計画を作成しました。

100日前のクリーンアップ活動、50日前の花いっぱいおもてなし運動と、市民のご参加とご協力をいただけるか不安ばかりが先になり、意見が分かれる場面もありました。部会員や各自治会のご理解とご支援をいただき、不安が自信に変わり各イベントを事故なく全て終えることができました。おもてなしの機運を高め、世界の首脳を市民が一丸となり出迎えることができ、その成果で伊勢志摩サミットが無事成功し、達成感でいっぱいです。

これを機に志摩市が世界の「志摩」となり、さらに発展していくことを願い、私の御礼のごあいさつといたします。



志摩市商工会長
坂下 啓登

2016年の伊勢志摩サミットが無事に終わり、本当に嬉しく思っております。あのとき、主要7か国の首脳は確かに志摩の地にいました。この誇り高いことたるや今でも喜ばずにはいられず、志摩市に大きな自信を与えてくれました。

日本のみならず世界の皆様に「志摩」の名前を知っていただけたことで、今後、多くの方がわれわれの土地を訪れてくださる下地になりました。その中で、地域産業に身を置く者としては、その下地をどう活用していくか、どのように活性化に結び付けていくか、力の試しどころであります。

私たちはサミットの終わりを新たな始まりとして、今後の展開にワクワクしつつ、引き続き、志摩の産業の発展に貢献してまいり所存でございます。



志摩市観光協会会長
西尾 新

伊勢志摩サミットが大過なく成功裏に終わったことは、ひとえに市民のご理解とご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

伊勢志摩サミット開催は市民にとって志摩の魅力を再発見するいい機会になったのではないのでしょうか。また、このサミットによって「志摩」の名は世界中に知れ渡りました。

ポストサミットを考えるにあたり、まずは市民自身が志摩の魅力をしっかりと理解し、郷土愛を深めていくことが重要であり、その魅力をしっかりと伝えていくことが志摩の発展につながると思います。

市民をはじめ観光関係者の方々には、今後とも継続して志摩づくりへのご協力をお願い申し上げます。

目次

序文 ー ごあいさつ	2	海上・上空の警備	34
		消防・救急体制	36
第1部 写真で振り返るサミット		賢島への入域規制	37
2016年のG7サミット開催地に決定!!	6	首脳が志摩にやってきた!	38
伊勢志摩サミット市民会議の設立	8	ついに本番、伊勢志摩サミット	40
志摩高校美術部カウントダウンボード制作	10	志摩市から各国首脳への贈呈品	49
安乗地区住民によるウェルカムボード制作	11		
サミットの集い ～音と舞の共演～	12		
しま国際交流フェスティバル	14	第2部 志摩市から見たサミットの記録	
「おもてなし大作戦」キックオフイベント	16	サミット開催決定と推進体制の整備	52
市内一斉清掃活動	18	機運醸成・おもてなしに向けた取り組み	58
志摩市まるごとおもてなしムーブメント	20	県民会議との連携	73
50日前記念イベント「アワビ稚貝放流」	22	警備・規制とその対応	77
花いっぱいおもてなし運動1	24	公式行事等との関わり	84
花いっぱいおもてなし運動2	26	その後、アフター・サミット	88
インフォメーションセンター開設	28	伊勢志摩サミットに関する志摩市のあゆみ	93
開催当日・カウントダウン0日	29		
住民懇話会・座談会等の開催	30	第3部 サミット・レジェンド	
警備体制の整備に向けた動き	31	100のサミット・レジェンド	102
過去最大の警備体制	32		

○本編における組織名・肩書等は、当時のものです。